

国立国語研究所学術情報リポジトリ

Changes of Word-Building Ability regarding Component Characters of Two-Character Sino-Japanese Words : A Comparative Analysis on 'Ninety Magazines of Today' and 'Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese'

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 本多, 由美子, HONDA, Yumiko メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001687

二字漢語を構成する漢字の造語力の変化 —『現代雑誌九十種の用語用字』データと『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 の比較を通して—

本多 由美子（一橋大学大学院言語社会研究科）[†]

Changes of Word-Building Ability regarding Component Characters of Two-Character Sino-Japanese Words: A Comparative Analysis on ‘Ninety Magazines of Today’ and ‘Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese’

Yumiko Honda (Hitotsubashi University Graduate School of Language and Society)

要旨

宮島(1969)によると、明治時代に比べ現代では二字漢語を構成する漢字の意味はとりにくくなっており、漢語の造語力が弱まった原因の1つであるという。このことを宮島(1969)は『郵便報知』と『現代雑誌九十種』のデータを用いて示した。本稿では『現代雑誌九十種』以降の傾向を捉えるために、宮島(1969)と同様の方法で『現代雑誌九十種』のデータと『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の「新聞」「知恵袋」とを比較した。比較の観点は二字漢語の構成漢字の「一字漢語の独立用例の有無」と「訓読みによる用例の有無」である。その結果(1)『現代雑誌九十種』以降、「一字漢語」と「訓読み」の用例を有する漢字は減少傾向にあり、(2)『現代雑誌九十種』以降の「訓読み」の減少幅が大きいことが確認された。このことは、部分的、間接的にではあるが、二字漢語を構成する漢字の造語力が低下傾向にあることを示すものと考えられる。

1. はじめに

漢字二字から成る漢語(以下「二字漢語」とする)は明治期に多くの語が作られたが、その生産能力は「明治から現在に近づくにつれて衰えをみせ(『国語学大辞典』「造語力」の項)」ているという指摘がある。現代では二字漢語の造語力が低下していることについて、二字漢語を構成する漢字(以下「構成漢字」と呼ぶ)の意味がとりにくくなっていることが原因の1つであると指摘したものに宮島(1969)がある。宮島(1969)は、明治期のデータとして国立国語研究所(1959)の「郵便報知」(以下「郵便報知」とする)、現代のデータとして国立国語研究所(1962, 1963, 1964)『現代雑誌九十種の用語用字』(以下「雑誌90種」とする)のデータを用いて語種別の語数や音読みされた漢字の数など、いくつかの観点から量的に比較を行い、明治期から現代における漢語の位置づけを論じている。その比較の中で、宮島(1969)は構成漢字の用例を量的に捉えることによって、現代では漢字の意味がとりにくくなり、そのことによって新しい二字漢語が作られにくくなったと述べている。

本稿では宮島(1969)の、個々の漢字の意味が漢語の造語に影響を与えるという考えに注目する。そして、二字漢語における漢字の造語力を「ある漢字が他の漢字と組み合わせさって新しく二字漢語を形成する能力¹⁾」と捉え、宮島(1969)と同様の方法で構成漢字の用例を調査することによって、「雑誌90種」以降における漢字の造語力の一端を捉えることを試みる。なお、本稿の考察対象は二字漢語のみであるため、本稿の「漢字の造語力」は「二

[†] nihonda(at)hotmail.com

¹⁾ 漢字の造語力について、文化審議会(2010:11)に「熟語の構成能力」との記述があり本稿はこれに従う。

字漢語の造語」の範囲に限定する。

2. 宮島(1969)による「郵便報知」と「雑誌 90 種」の比較

宮島(1969)は「郵便報知」と「雑誌 90 種」の比較において、構成漢字の「一字漢語としての独立性」と「訓とのつながり」の 2 点について検討している。宮島(1969)によると、明治期よりも現代の方がこの 2 点のいずれについても弱まっているという。

宮島(1969)は、一字漢語とは「漢字一字が表す漢語の要素」で「一字漢語の独立性」を「一字漢語がそれだけで単語として使われる傾向」とし、「門」「線」のように漢字一字で語として用いられるものや、「信ずる」「愛する」のように「する」が付いてサ変動詞を形成する語、「単に」「特に」など副詞的な語を挙げている。また「訓とのつながり」については、和語に当てられる漢字、つまり訓読みに用いられる漢字は意味がとりやすいが、構成漢字の中で訓読みに用いられないものは、構成する要素として意味がとりにくいと述べている。例えば「妊娠」の「妊」や「廉価」の「廉」は、「郵便報知」では「硫酸鉄ハ妊ヲ防ク良品ナリ」や「現金引換へ価廉に品良なるを以て名あり」という用例があり²、漢字一字が一字漢語として独立して用いられているのに対し、現代では漢字一字が一語として独立して用いられることがなくなっていることや、「郵便報知」では「委細」の「委」、「検索」の「索」が「委しい(くわしい³)」「索める(もとめる)」のような和語にあてられ訓読みに用いられているのに対し、現代ではこれらの訓読みは使われなくなっていることなどが挙げられている。

構成漢字が一字漢語として独立して用いられる例(以下「一字漢語の独立用例」とする)の減少は、例えば「脳(ノウ)」「死(シ)」「点(テン)」「線(セン)」のような独立した一字漢語に用いられる漢字が減少していることを意味する。このことは「脳死(ノウシ)」や「点線(テンセン)」のように、これらの一字漢語が直接結びつく方法による造語が行われにくくなること、そしてそれは部分的にはあるが構成漢字の造語力が低下傾向にあることを意味する。「訓読みによる用例」の減少は、訓読みされる漢字が減り、漢字が和語と結びつかなくなることであり、例えば「国外(コクガイ)」という語の意味を理解する際、「国(くに)」「外(そと)」という構成漢字の訓読みと結びつけるように、二字漢語の意味を構成漢字ごとに分解して捉えることが難しくなることを意味する。また、意味がとりにくくなった漢字を使って新しい語は作られにくくなる。宮島(1969)の上述の例「検索」の場合、「索」が和語の表記に用いられなくなることによって「索」の意味がとりにくくなり「検索」の意味を「検」と「索」に分解して捉えることが難しくなるとともに「索」を使った造語もされにくくなるということである。漢字の訓によって二字漢語が直接造語されるわけではないが、漢字の意味がとりにくくなることは、漢字の造語力に間接的に影響を与えらると思われる。

宮島(1969)は明治期に新しい二字漢語が作られた際には、漢字一字の意味が明確だったため理解が容易だった語が、漢字一字の意味が明確ではなくなることによって構成漢字に分解して理解することが難しくなったと述べている。このことを量的に検討するために、宮島(1969)は「雑誌 90 種」における高頻度の二字漢語 100 語について、構成漢字が一字漢語として独立して使われることがあるか否か、訓読みに使われることがあるか否かを「郵

² 「郵便報知」の用例は宮島(1969)による。

³ 本稿では、漢字や二字漢語の読み方を示す場合、訓読みを平仮名、音読みを片仮名で示す。

便報知」「雑誌 90 種」から用例を抽出することによって調べている。その上で、各二字漢語がどのような漢字の組み合わせによって形成されているかをまとめ、語を分類している。まず、構成漢字については、一字漢語の独立用例の有無によって「独立・非独立」の 2 種類に分け、また、訓読みに用いられる例(以下「訓読みによる用例」とする)の有無によって「訓あり・訓なし」の 2 種類に分けている。次に、各二字漢語を一字漢語の観点から構成漢字が「両方(2字とも)独立」「一方が独立」「両方非独立」の 3 種類、訓読みについては「両方訓がある」「一方に訓がある」「両方訓がない」の 3 種類に分けている。宮島(1969:42-43)の結果を表 1, 2 に示す。この表は筆者が語数を抜粋しまとめたものである。

表 1「郵便報知」「雑誌 90 種」の一字漢語比較 表 2「郵便報知」「雑誌 90 種」の訓読み比較

		郵便報知			計
		両方独立	一方が独立	両方非独立	
雑誌 90 種	両方独立	15	2	1	18
	一方が独立	16	20	4	40
	両方非独立	10	17	15	42
計		41	39	20	100

		郵便報知			計
		両方訓あり	一方に訓あり	両方訓なし	
雑誌 90 種	両方訓あり	57	5	0	62
	一方に訓あり	13	19	0	32
	両方訓なし	2	3	1	6
計		72	27	1	100

表 1, 表 2 ともに単位は語数。宮島(1969:42-43)の抜粋。

「雑誌 90 種」における高頻度の二字漢語 100 語を一字漢語の独立用例で分類したのが表 1, 訓読みの用例で分類したのが表 2 である。それぞれの表の左下の色がついている部分と太線で囲まれている部分は筆者がつけた。色がついている部分は、「郵便報知」では用例が確認されたが「雑誌 90 種」では用例が確認されなかった漢字を含む語であり、「郵便報知」から「雑誌 90 種」の間に、二字漢語における構成漢字の意味がとりにくい方に変化した語であると考えられる。反対に右上の太線で囲まれている部分は「郵便報知」では用例が確認されなかったが「雑誌 90 種」では確認された漢字を含む語であり、構成漢字の意味がとりやすい方に変化した語であると捉えることができる。

宮島(1969)も指摘しているように、表 1 の「郵便報知」では「両方独立」、すなわち両方の構成漢字に「一字漢語の独立用例」があった語は 41 語、「一方が独立」39 語、「両方非独立」20 語であったが、「雑誌 90 種」では、それぞれが 18 語、40 語、42 語であり、「両方独立」と「両方非独立」の数字がほぼ逆転している。逆転の内容を見ると、「郵便報知」で「両方が独立」の 41 語のうち、「雑誌 90 種」で「両方独立」の語は 15 語で、残りの 26 語は構成漢字の「一方が独立」(16 語)、あるいは「両方非独立」(10 語)の語である。表 2 においても「郵便報知」では、「両方訓あり」の 72 語のうち、「雑誌 90 種」でも「両方訓あり」の語は 57 語で、残りの 15 語は構成漢字の一方、あるいは両方に訓読みの用例がなかった。表 1, 表 2 の結果について宮島(1969)の指摘は次の 2 点である。1 点目は「郵便報知」よりも「雑誌 90 種」の方が、一字漢語が独立して用いられる漢字(表 1), 訓読みで用いられる漢字(表 2)のいずれにおいても用例のある構成漢字の数が減少傾向にある。これは、現代では、二字漢語の要素の意味がとりにくくなっている語が増えたことを意味すること、2 点目は特に一字漢語(43 語)の方が訓読み(18 語)よりも減少幅の大きいことである。

宮島(1969)はこれらの変化が影響し、二字漢語が造語されにくくなってきたと述べている。本稿では、宮島(1969)をもとに構成漢字の用例が減少することは、部分的、間接的にではあるが、二字漢語構成する漢字の造語力が低下する方向に影響を与えるものと考えられる。

3. 研究課題

「郵便報知」は明治10年から11年(1877-78年)の1年間の新聞の資料、「雑誌90種」は昭和31年(1956年)に発行された雑誌の資料をもとにしたデータであり、宮島(1969)は約80年間の変化を捉えたものだと言える。では「雑誌90種」以降の変化はどのようになっているのだろうか。本稿では、「雑誌90種」のデータと『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(以下、BCCWJと略す)の「出版・新聞(コア・非コア、以下『新聞』とする)」および「特別目的・知恵袋(コア・非コア、以下『知恵袋』とする)」を宮島(1969)と同様の方法で比較し、さらに、宮島(1969)の結果と合わせて比較することによって「雑誌90種」以降の約50年間の漢字の造語力の変化の傾向を捉える資料としたい⁴。表記における国語施策では「雑誌90種」とBCCWJの間には、昭和47年(1972年)に「当用漢字音訓表」、昭和56年(1981年)に「常用漢字表」が告示されている。これらの施策は佐竹(2004)によると、昭和22年(1947年)の「当用漢字表」で定められた制限を見直す「規制の緩和(佐竹2012:46)」という流れの中での施策であるという。

BCCWJの「新聞」と「知恵袋」を比較の対象としたのは、新聞は表記の基準が定められており、また多くの人に読まれる媒体であることから、調査時点の統制された規範的な表記のデータとして捉えることができる。一方、「知恵袋」は表記の基準は定められておらず、書き手が自由に表現した表記のデータと捉えることができる。そのため、別々に比較をすることで「雑誌90種」以降の傾向が捉えられるのではないかと考えたからである。

本稿では「新聞」と「知恵袋」それぞれのレジスターにおける高頻度の二字漢語100語を調査対象とし、「雑誌90種」と比較する。

4. 調査方法・手順

4.1 宮島(1969)の調査方法

宮島(1969)では、「郵便報知」と「雑誌90種」の比較を次のように行っている。まず、「郵便報知」と「雑誌90種」の延べ語数に違いがあるため、「雑誌90種」の9分の2の範囲のみを調査対象とすることによって、2つの語数をそろえている⁵。次に「雑誌90種」における高頻度の二字漢語100語を調査対象とし、構成漢字の用例の有無をまとめている⁶。「一字漢語の独立用例」については、 β 単位にもとづき、漢字一字が一語を表す用例と「信ずる」「愛する」のように一字漢語に「する」が付いて動詞として用いられる例、「単に」「特に」のように副詞的に用いられる例、「訓読みによる用例」については、漢字が訓読みで読まれる例が用例として数えられている。本稿の調査も宮島(1969)と同様の方法で進めた。

⁴ BCCWJの「出版・新聞」は2001年から2005年に発行された新聞のデータであり、「特別目的・知恵袋」は2005年のデータである。

⁵ 宮島(1969)では「郵便報知」の延べ語数が99,384、「雑誌90種」が438,135であるため、「雑誌90種」を9分の2の範囲にする方法として、「全部で九段階に分かれている調査範囲の、第一、第二段階だけを対象とした。」と書かれている。

⁶ 「郵便報知」と「雑誌90種」で出現する「一字漢語の独立用例」「訓読みによる用例」をすべて調べた結果の中から、「雑誌90種」における高頻度語100語の構成漢字の結果を抽出している。

4.2 本稿の調査方法・手順

4.2.1 調査データ

「雑誌 90 種」のデータは国立国語研究所(1997)のフロッピーディスク版(以下、FD 版とする)を用いた。FD 版は国立国語研究所(1962, 1963, 1964)の調査で採集された β 単位の全語が採録され、リスト化された資料である。項目は語彙素読み順で並べられ、語種、品詞情報と語例が示されている。語例の欄から各語に対する全表記と、それぞれの表記に対する頻度の情報が得られる。例えば「入れる(和語, 用の類⁷⁾」の項目は、総頻度 386 であり、表記と頻度は、入れる 36, 入る 1, 入れる 342, 容れる 6, 淹れる 1 であることがわかる。

「新聞」「知恵袋」のデータは BCCWJ の「出版・新聞(コア・非コア)」および「特別目的・知恵袋(コア・非コア)」である。「雑誌 90 種」(β 単位)と BCCWJ の「新聞」「知恵袋」(短単位)は延べ語数が異なる⁸⁾(表 3)。「雑誌 90 種」のサイズに合わせるために BCCWJ の連番を利用した。連番はサンプル内での長単位の並び順を示し、10 きざみで付けられている¹⁰⁾。本稿では「新聞」は連番の下 2 桁が 30, 60, 90 のデータ、「知恵袋」は連番が 250 の倍数のデータのみを抽出し、「新聞」の約 33.3%、「知恵袋」の約 4.0%を調査データとした。

表 3 「雑誌 90 種」「新聞」「知恵袋」の延べ語数

	延べ語数
「現代雑誌 90 種 ¹¹⁾ 」	438,760
「新聞(コア・非コア)」	1,370,233
「知恵袋(コア・非コア)」	10,256,877

4.2.2 調査対象の二字漢語と漢字

「BCCWJ 短単位語彙表」を利用し、「新聞」「知恵袋」それぞれのレジスターにおいて、漢字二字から成る漢語を高頻度順に並べ、上位 100 語とその 100 語を形成する漢字を調査対象とした¹²⁾。各レジスターの語数と漢字数を表 4 に示す。

表 4 調査対象の二字漢語と構成漢字

	延べ		異なり 漢字数	高頻度の漢字
	語数	漢字数		
「新聞」	100	200	151	会 5, 民 4, 議 3, 国 3, 対 3, 社 3, 年 3
「知恵袋」	100	200	167	以 3, 意 3, 一 3, 間 3, 分 3
重複	25	50	47	学 2, 校 2, 時 2

⁷⁾ 品詞として、『分類語彙表』の 4 分類(体の類, 用の類, 相の類, その他)が示されている。

⁸⁾ レジスター別の短単位語数および年の情報は「BCCWJ/短単位語数」のページから得た。

⁹⁾ BCCWJ の短単位は β 単位を元に設計されたものである(山崎編 2014)ため、本稿における二字漢語の調査については β 単位と短単位を同様の単位とみなして扱う。

¹⁰⁾ 国立国語研究所(2015)第 6 章参照

¹¹⁾ 国立国語研究所(1962:314)では、延べ語数は 438,135 語であるが、本稿では調査に使用した FD 版の頻度を合計した数を用いた。

¹²⁾ 数詞(例:二十)と「箇月」は除外した。宮島(1969:41)も同様である

「新聞」は延べ語数 100 語、延べ漢字数 200 字、異なり漢字数 151 字、「知恵袋」は延べ語数 100 語、延べ漢字数 200 字、異なり漢字数 167 字であった。「新聞」と「知恵袋」で重複する語は 25 語、重複する漢字は、47 字(異なり)であった。「新聞」と「知恵袋」で重複する語は 25.0%、重複する漢字は異なりで 30%前後であり、「新聞」と「知恵袋」では高頻度の漢字は異なっている。

4.2.3 手順

本稿で調べるのは「一字漢語の独立用例」の有無と「訓読みによる用例」の有無である。「雑誌 90 種」と「新聞」「知恵袋」について、以下の手順で漢字の用例を抽出し、確認した。抽出の際には、固有名詞、地名、人名は除外した。具体的には、「雑誌 90 種」では、語種が「人」「姓」「姓名」「地名」「名」の項目、「新聞」「知恵袋」では、品詞が「名詞-固有名詞」の語を除外した。「明日(あす)」などの熟字訓や当て字は、漢字に対応する読み方が決められないため、用例には含めなかった。

「雑誌 90 種」では、FD 版のリストの語例の欄を使って調査対象の構成漢字が使われている語を抽出した。語種の情報を参考に「一字漢語」は、漢字一字かつ音読みで用いられている例、「関する」「対する」のように一字漢語に「する」が付いて動詞として用いられる例、「現に」「真に」「確たる」のように副詞的、連体詞的に用いられる例を確認し、また「訓読み」は、漢字が訓読みで読まれている語の例を確認した。

「一字漢語」について、 β 単位の一文字漢語には、「長官並みの格で」の「格」のような一字漢語が独立して用いられているものや、「代表格」の「格」のような他の語と共に合成語を形成しているもの、「西洋化」の「化」や「多方面」の「多」など接辞として用いられているもの、助数詞が含まれている。本稿で確認するのは一字漢語が独立して用いられた例で、上述の例の中の「長官並みの格で」の「格」のような例のみである。これについて、「雑誌 90 種」のリストでは十分な情報が得られなかったため、「雑誌 90 種」のリストに一字漢語の例がある語については、原文¹³を確認した。

「新聞」「知恵袋」については、コーパス検索アプリケーション『中納言』の短単位検索を用い、書字形と品詞を条件に、調査対象の漢字が含まれている語を抽出した¹⁴。検索した結果から、「新聞」は連番の下 2 桁が 30, 60, 90, 「知恵袋」は連番が 250 の倍数の結果のみを分析に用いた。書字形と語彙素読みをもとに、一字漢語および訓読みの用例の有無を確認した。一字漢語については、書字形が当該の漢字一字である用例を抽出した後で、「雑誌 90 種」と同様に、用例を目視しながら、前後に名詞が連続しない語¹⁵を確認した。ただし、前後に数詞が続く場合には、「前 11・0」のように午前の略語の「前」の前後に数詞が続くもののみ用例とみなした。略語については後述する。漢字一字が独立して用いられている例でも、例えば「生」が「セイ」「なま」のいずれであるかなどは短単位検索の結果だけでは十分な情報が得られなかったため、語種の情報は利用しなかった。また、中には前後の文脈を読んでも漢字一字の語が漢語であるか和語であるか判断できない用例もあった

¹³ 国立国語研究所(1987)を用いた。この資料はマイクロフィッシュに採集カードが記録されている。

¹⁴ キーの条件式は、例えば「人」の場合は「キー:(書字形 LIKE "%人%" AND NOT 品詞 LIKE "名詞-固有名詞%)"である。

¹⁵ 名詞が前接する語で一字漢語の独立用例とみなした語は 1 語「別冊環」で、これは『環(カン)』という雑誌の名前である。

が、それによって今回の調査の「用例の有無」にもとづく分類に影響を与えることはなかった。

4.2.4 略語の扱い

一字漢語の略語の扱いについて、宮島(1969)では詳細に述べられていないが、「一字漢語の独立用例」に「日曜日」を意味する「日」が含まれていること、「安全保障」を略した「安保」は「安全保障」という語の存在を前提とした分割不可能な一語であると記されていることから、本稿では漢字一字で用いられる略語のみを一字漢語の独立用例とし、前述のように前後に「数詞以外の名詞」が連続しない語を用例とした。抽出した略語には、「注も親切」のような助詞が後接する語以外に、「(注)」など前後が補助記号や空白のものも含まれる。略語の用例には「注意」を意味する「注」や、「雑誌90種」では法令に用いられる「政(政令の略語)」、「新聞」では「電話番号」の意味の「電」、政党名「自民党」を意味する「自」の用例などが確認された¹⁶。企業名を略した「トヨタ自」や「三菱電」の「自」「電」は社名の一部とみなし、一字漢語の独立用例とはしなかった。用例の中に「日」が「日曜日」を表わす例と「日本語」を表す例があるように、略語の意味は文脈によって異なる場合がある。また、書籍名に含まれる上下巻を表す「上」は上巻の略語、新聞の見出しの一部に使われていた「ルポ 中」の「中」は「中編」の略語の例とみなしたが、「中」の場合、連続した3編(上中下)の2番目を表す記号的な使われ方だと捉えることもできる。一字漢語の略語の扱いについては今後の課題としたい。

5. 結果と考察

まず、「雑誌90種」と「新聞」、次に「雑誌90種」と「知恵袋」を比較し本稿の研究課題である「雑誌90種」以降の変化を概観する。その後で宮島(1969)の「郵便報知」と「雑誌90種」の比較結果を合わせて「郵便報知から雑誌90種」の変化と「雑誌90種以降」の変化を比較する。

5.1 「雑誌90種」と「新聞」の比較(表5, 6)

「雑誌90種」と「新聞」の比較結果を表5, 表6に示す。表5は「一字漢語の独立用例」の有無、表6は「訓読みによる用例」の有無による比較である。章末の資料1, 2に調査対象の全語を入れた表を示す。まず、「一字漢語の独立用例」について表5を見ると、「雑誌90種」では、「両方が独立」が32語、「一方が独立」が42語、「両方非独立」が26語であ

¹⁶ 本件研究では後述の分析で「雑誌90種」と「新聞」、「雑誌90種」と「知恵袋」についてそれぞれ比較を行った際、「一字漢語の独立用例」の有無によって二字漢語を分類した。この分類に影響を与える略語、つまり、ある構成漢字に対し「一字漢語の独立用例」が略語のみであった構成漢字と、その漢字を使った略語は、以下の通りである。構成漢字数に大きな違いが見られないことから、本調査の略語の捉え方は本稿の結論には影響しないと判断した。なお、下記の「政3」の3は構成漢字の延べ字数を表す。

【雑誌90種と新聞】【雑誌90種】延べ9字, 異なり7字, 【新聞】延べ5字, 異なり5字,

【雑誌90種】改(改進黨), 首(首相), 上(上級者), 政3(政令), 前(午前), 中(中級者, 中学生), 明(明治) / 【新聞】自(自民党), 上(上巻), 前(午前), 中(中編), 電(電話番号)

【雑誌90種と知恵袋】【雑誌90種】延べ6字, 異なり6字, 【知恵袋】延べ4字, 異なり4字【雑誌90種】外(外相), 上(上級者), 前(午前), 注(注意), 日(日曜日), 明(明治) / 【知恵袋】注(注意), 日(日本語), 法(法学部), 予(予定)

ののに対し、「新聞」ではそれぞれ 17 語, 44 語, 39 語であり, 「両方独立」は 15 語減り, 「一方が独立」と「両方非独立が」それぞれ 2 語と 13 語増えている。また, 表 5 の左下の色がついている部分は, 「雑誌 90 種」では用例が確認されたが「新聞」では構成漢字の一方, あるいは両方の用例が確認されなかった語数であり, 全部で 31 語ある。また, 右上の太線で囲まれている部分は, 「雑誌 90 種」では構成漢字の用例が確認されなかったが「新聞」では確認された語であり, 合わせて 4 語である。左下の色がついている部分の方が語数が多く, 用例を有する構成漢字が減る傾向にあることが読み取れる。

次に, 表 6 の「訓読みによる用例」を見ると, 「雑誌 90 種」では, 「両方訓あり」が 73 語, 「一方に訓あり」が 23 語, 「両方訓なし」が 4 語であるのに対し, 「新聞」ではそれぞれ 56 語, 35 語, 9 語であり, 「両方訓あり」が 17 語減り, 「一方に訓あり」と「両方訓なし」がそれぞれ 12 語と 5 語増えている。また, 色がついている部分が 24 語, 太線で囲まれた部分が 2 語であることから, 訓読みについても用例を有する構成漢字は減少傾向にあることがわかる。以上のことから, 「雑誌 90 種」と「新聞」を比較すると, 「一字漢語の独立用例」と「訓読みによる用例」はいずれも減少傾向にあることが確認される。

表 5 「雑誌 90 種」と「新聞」の一字漢語

		雑誌 90 種			計
		両方独立	一方が独立	両方非独立	
新聞	両方独立	16	1	0	17
	一方が独立	15	26	3	44
	両方非独立	1	15	23	39
計		32	42	26	100

表 6 「雑誌 90 種」と「新聞」の訓読み

		雑誌 90 種			計
		両方訓あり	一方に訓あり	両方訓なし	
新聞	両方訓あり	54	2	0	56
	一方に訓あり	19	16	0	35
	両方訓なし	0	5	4	9
計		73	23	4	100

表 5, 表 6 とも単位は語数。表 7, 表 8 も同じ。

5.2 「雑誌 90 種」と「知恵袋」の比較(表 7, 8)

「雑誌 90 種」と「知恵袋」を比較した表を表 7, 8 に, 全語を入れた表を章末資料 3, 4 に示す。まず「一字漢語の独立用例」について表 7 を見ると, 「雑誌 90 種」では, 「両方独立」が 26 語, 「一方が独立」が 49 語, 「両方非独立」が 25 語であるのに対し, 「知恵袋」ではそれぞれ 12 語, 46 語, 42 語である。「両方独立」は 14 語, 「一方が独立」も 3 語減少しているのに対し, 「両方非独立」は 17 語増加している。また, 左下の色がついている部分は, 合わせて 31 語あり, 右上の太線で囲まれている部分は合わせて 4 語である。このことから用例を有する構成漢字が減る傾向があることが読み取れる。次に「訓読みによる用例」について表 8 を見ると, 「雑誌 90 種」では, 「両方訓あり」が 63 語, 「一方に訓あり」が 33 語, 「両方訓なし」が 4 語であるのに対し, 「新聞」ではそれぞれ 44 語, 44 語, 12 語であり, 「両方訓あり」が 19 語減り, 「一方に訓あり」と「両方訓なし」がそれぞれ 11 語と 8 語増えている。また, 色がついている部分が 29 語, 太線で囲まれた部分が 2 語であることから, 訓読みについても用例を有する構成漢字は減少傾向にあることがわかる。このように「雑誌 90 種」と「知恵袋」を比較すると「一字漢語の独立用例」と「訓読みによる用例」はいずれも減少傾向にあることが読み取れる。

以上の「雑誌 90 種」と「新聞」, 「雑誌 90 種」と「知恵袋」の比較結果から, 「雑誌 90 種」以降では「新聞」「知恵袋」いずれにおいても「一字漢語の独立用例」および「訓読み

による用例」の減少傾向が見られ、二字漢語は構成漢字の意味がとりにくい方に変化していることが示唆される。この結果は部分的、間接的にはあるが、「新聞」「知恵袋」の高頻度の二字漢語を構成する漢字の造語力が低下する傾向にあることを表すものであると考える。

表7 「雑誌90種」と「知恵袋」の一字漢語

		雑誌90種			計
		両方独立	一方が独立	両方非独立	
知恵袋	両方独立	11	1	0	12
	一方が独立	11	32	3	46
	両方非独立	4	16	22	42
計		26	49	25	100

表8 「雑誌90種」と「知恵袋」の訓読み

		雑誌90種			計
		両方訓あり	一方に訓あり	両方訓なし	
知恵袋	両方訓あり	42	2	0	44
	一方に訓あり	21	23	0	44
	両方訓なし	0	8	4	12
計		63	33	4	100

5.3 「郵便報知」と「雑誌90種」, 「雑誌90種」以降の比較

宮島(1969)が行った「郵便報知」と「雑誌90種」の比較結果(表1, 2)および「雑誌90種」以降の比較結果を合わせ、変化の傾向をさらに検討する。宮島(1969)の調査結果は「雑誌90種」の9分の2の語数で行った調査であるため、「両方独立」や「一方が独立」の語数による単純な比較は難しく、また、宮島(1969)には構成漢字すべての用例の有無について情報が記載されていない。そのため、表1, 2, 5~8での語の分類結果をもとに変化の度合いを比較することにする。

表1, 2, 5~8は、各データの比較において、新しいデータ¹⁷の方が古いデータよりも構成漢字の用例が減少傾向にあることを示している。しかし、二字漢語において構成漢字の用例が一方のみ変化したのか、両方変化したのかによっても、変化の程度は異なる。そこで、各二字漢語の変化の度合いを構成漢字の用例の有無に変化があった語、具体的には、表1, 2, 5~8の色がつけられている部分および太線で囲まれている部分の語数をまとめ、変化の度合いを表すことによって比較することにした。まとめ方は各比較において、古い方のデータでは構成漢字の用例があったが、新しい方のデータでは用例が確認されなかった場合は、構成漢字の意味がとりにくくなる方向への変化でマイナス方向への変化とし、古い方のデータでは構成漢字の用例が確認されなかったが、新しい方のデータでは確認された場合は、構成漢字の意味がとりやすくなる方向への変化で、プラス方向への変化とした。構成漢字一方のみの変化は-1または+1, 両方の変化は-2または+2とした(表9)。

表9 表1, 2, 5~8の変化のまとめ方(例 一字漢語の独立用例)

		古いデータ		
		両方独立	一方が独立	両方非独立
新しいデータ	両方独立		+1	+2
	一方が独立	-1		+1
	両方非独立	-2	-1	

¹⁷ 例えば「雑誌90種」と「新聞」の比較で新しいデータは「新聞」、古いデータは「雑誌90種」を指す。

表9は「一字漢語の独立用例」の例であるが、「訓読みによる用例」も同様である。集計は、それぞれの欄に当てはまる語数と表9の値を掛けて、プラス方向とマイナス方向でそれぞれ集計し、さらにその値を合計した。

図1, 2に「一字漢語の独立用例」(表1, 5, 7)と「訓読みによる用例」(表2, 6, 8)の変化の値を集計したものをまとめた。縦軸は変化の度合いを示した値である。まず、プラス方向とマイナス方向の変化の度合いを示し、「計」ではその合計を示した。図中の「郵便」は「郵便報知」、「雑90」は「雑誌90種」、「知恵」は「知恵袋」の略である。「郵便報知」と「雑誌90種」は「雑誌90種」の9分の2の語数での調査であるため単純に比較できないが、「郵便報知」と「雑誌90種」、「雑誌90種」と「新聞」、「雑誌90種」と「知恵袋」は「一字漢語の独立用例」と「訓読みによる用例」の両比較においてプラス方向よりもマイナス方向への変化が大きい。この結果から、「新聞」「知恵袋」の高頻度の二字漢語を構成する漢字は、意味がとりにくいほうに変化し、このことから部分的、間接的にはあるが、構成漢字の造語力は低下傾向にあると考えられる。

また、「一字漢語の独立用例」と「訓読みによる用例」では変化の傾向が異なることが読み取れる。「一字漢語の独立用例」は、「訓読みによる用例」よりも変化の幅が大きく、図1を見ると「郵便報知」と「雑誌90種」の間の約80年間に「一字漢語の独立用例」は-45と大きく減少し、「雑誌90種」以降の約50年間においては「雑誌90種」と「新聞」が-28、「雑誌90種」と「知恵袋」が-31であり、「郵便報知」と「雑誌90種」の間ほどではないが、減少傾向が続いていることがわかる。「一字漢語の独立用例」が減少していることについて「雑誌90種」と「新聞」および「知恵袋」を比較すると、「雑誌90種」の中にはやや古い表現のテキストが見られることが理由の1つとして考えられる。例えば、「雑誌90種」では「学」の用例に「禅僧が、元に留学し、学成って日本に帰る時、師の南洲文藻という禅林に別れの偈を乞うた」という用例が見られた。このようなテキストでは、一字漢語が選ばれやすい可能性があると考えられる。一字漢語が独立して用いられる場合、「本(ホン)」や「文(ブン)」などのように、身近な普通名詞の語もあるが、上述の「学」や「再燃せしめる因をなした」の「因」、「どの程度まで効を挙げるか」における「効」など、やや硬い文体で用いられやすいと思われる抽象的な意味の一字漢語の用例も見られた。

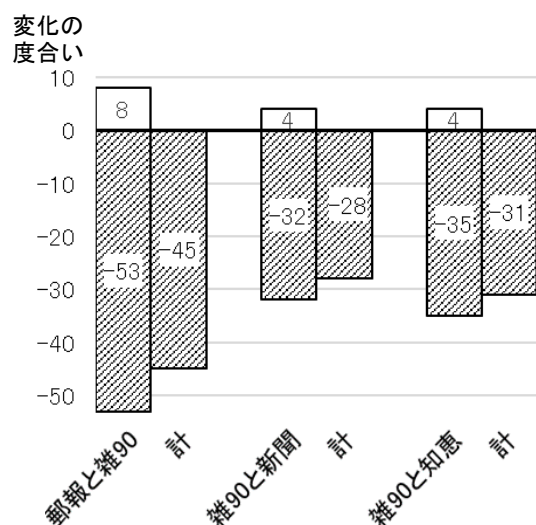


図1 一字漢語の独立用例による変化の度合い

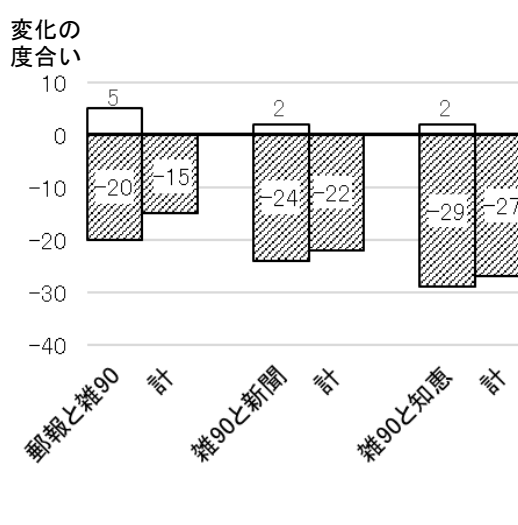


図2 訓読みの用例による変化の度合い

また、表 5、表 7 を見ると、「雑誌 90 種」と「新聞」、「雑誌 90 種」と「知恵袋」では、レジスターが異なるにもかかわらず、変化の値に大きな違いがないことは興味深い。「新聞」と「知恵袋」は調査対象語において重なる語が 100 語中 25 語(表 4 参照)であり、重複する異なり漢字も 30%程度で、重複しない漢字の方が多い。「新聞」と「知恵袋」を比較するには語数を増やした比較が必要だと思われるため、両者の比較は今後の課題としたい。

図 2 の「訓読みによる用例」の有無の変化については、「一字漢語の独立用例」ほどではないが、「郵便報知」と「雑誌 90 種」の間の約 80 年間においても、「雑誌 90 種」以降の約 50 年間においても減少傾向にあり、構成漢字の意味はとりにくい方に変化していることがわかる。また「郵便報知」と「雑誌 90 種」の間の約 80 年間の減少幅よりも「雑誌 90 種」以降の約 50 年間における減少幅の方が大きいことが変化の特徴として挙げられる。

ここでは「雑誌 90 種」以降の「訓読みによる用例」の減少傾向について、「訓読みの制限の影響」と「レジスターにおける語彙の違い」の 2 点について述べる。図 2 の「雑 90 と新聞」の変化を表す値 2 と-24 は、「雑誌 90 種」では用例がなかったが、「新聞」では用例が確認された構成漢字が延べ 2 字、反対に「雑誌 90 種」では用例があったが、「新聞」では用例が確認されなかった構成漢字が延べ 24 字あったことを示している。図 2 にまとめられた構成漢字がどのような訓読みで読まれているかを表 10 に示す。漢字の後ろの数字は、同じ漢字が複数回用いられたときの回数を示している。例えば、「雑誌 90 種と新聞」の「画 2」は、「映画」と「計画」の 2 語に用いられていることを意味する(章末資料 2 参照)。表 10 における当用漢字表(1947年)の表外の訓読みは全語が常用漢字表(1981年)の表外の訓読みでもあった。訓読みを表外(以下「当用・常用外」とする)と表内(以下「当用・常用内」とする)に分けて示す。

表 10 「雑誌 90 種」と「新聞」、「雑誌 90 種」と「知恵袋」における訓読みの有無

	「新聞」あるいは「知恵袋」のみに用例がある訓読み	「雑誌 90 種」に用例があり、「新聞」あるいは「知恵袋」に用例がない訓読み
「雑誌 90 種」と「新聞」	<p>【当用・常用内】 (延べ 2, 異なり 2) 授:授かる(さずかる), 務:務まる(つとまる)</p>	<p>【当用・常用外】(延べ 21 字, 異なり 13 字) 活 2:活かす(いかす), 容:容れる(いれる), 午 2:午(うし, ひる), 画 2:画(え), 件:件(くだん), 術:術(すべ), 発 2:発つ(たつ), 文:文(ふみ), 政 3:政に(まさに), 対 3:対う(むかう), 以:以て(もって), 能:能い(よい), 環:環(わ)</p> <p>【当用・常用内】(延べ 3 字, 異なり 2 字) 究:究める(きわめる), 業 2:業(わざ)</p>
「雑誌 90 種」と「知恵袋」	<p>【当用・常用外】 (延べ 1, 異なり 1) 録:録る(とる)</p> <p>【当用・常用内】 携:携わる(たずさわる) (延べ 1, 異なり 1)</p>	<p>【当用・常用外】(延べ 16 字, 異なり 12 字) 購:購う(あがなう), 画:画(え), 了:了える・了る(おえる・おわる) 検:検べる(しらべる), 銀:銀(しろがね), 質:質ねる(たずねる), 番 2:番い(つがい), 勉:勉める(つとめる), 勿:勿れ(なかれ), 対 2:対う(むかう), 以 3:以て(もって), 能:能い(よい)</p> <p>【当用・常用内】(延べ 13 字, 異なり 11 字) 商:商い(あきない), 字:字(あざ), 価 2:価(あたい), 険:険しい(けわしい), 便:便り(たより), 説:説く(とく), 額:額(ひたい), 実:実(み), 本 2:本(もと), 社:社(やしろ), 由:由(よし)</p>

まず、「訓読みの制限の影響」について表 10 を見ると、「雑誌 90 種」に用例があり、「新聞」あるいは「知恵袋」に用例がない訓読みには、「当用・常用外」のものが目立つ。「雑誌 90 種」と「新聞」の欄を見ると、「雑誌 90 種」に用例があり「新聞」に用例がない訓読みの中で「当用・常用外」は延べ 21 字、異なり 13 字であり、「当用・常用内」を加えた延べ 24 字、異なり 15 字のうち、それぞれ 87.5%と 86.7%を占める。同様に「雑誌 90 種」と「知恵袋」では、「雑誌 90 種」に用例があり「知恵袋」に用例がない訓読みの中で「当用・常用外」は延べ 16 字、異なり 12 字であり、「当用・常用内」を加えた延べ 29 字、異なり 23 字のうち、それぞれ 55.2%、52.2%を占める。「雑誌 90 種」は 1956 年発行の雑誌を調査したものであり、当用漢字表が定められた後の調査であるが、表 10 を見ると「雑誌 90 種」では当用漢字表以前の表記慣習が残っており、「新聞」「知恵袋」までの間に当用漢字表による訓読みの制限が定着してきた可能性が考えられる。

次に「レジスターにおける語彙の違い」について、「雑誌 90 種」に用例があり、「新聞」および「知恵袋」では用例がない訓読みは、「新聞」「知恵袋」にその和語が使われていないか、あるいは語としては使われているが当該の漢字が表記に用いられていない可能性がある。このことを確認するために、表 10 において、「雑誌 90 種」に用例があり、「新聞」あるいは「知恵袋」に用例がない訓読みについて、「新聞」「知恵袋」を調べた。『中納言』を用い語彙素読みをキーに検索し¹⁸、検索結果から「語彙素」の表記と「書字形」を利用して、明らかな同訓異義語を除いた。前後の文脈を詳細に見ていないため大まかな確認ではあるが、表中の下線は「新聞」「知恵袋」では使用例が確認できなかった語である。「雑誌 90 種」と「新聞」の異なり 15 字の訓読み(「当用・常用外」13 字、「当用・常用内 2 字」)のうち、語として出現していなかったものは「ふみ」1 語であった。14 字の訓読みについては、平仮名表記、あるいは他の漢字を用いた表記による使用例が確認された¹⁹。一方、「雑誌 90 種」と「知恵袋」の異なり 23 字の訓読みのうち、語として出現していなかったものは、12 語(あがなう、あきない、あざ、けわしい、しろがね、たより、つがい、とく、なかれ、ひたい、やしろ、よし)²⁰であった。11 字の訓読みについては、平仮名表記、あるいは他の漢字を用いた表記が確認された。ただし、平仮名表記、あるいは他の漢字を用いた表記が確認された訓読みも、本稿における調査対象漢字の訓読みと同じ意味で用いられているか否かについては、用例の詳細な検討が必要である。また、例えば「知恵袋」では、「あがなう」「あきない」の用例は確認されなかったが、同様の意味を表す「購入」「商売」の用例は確認されたことから、「知恵袋」に和語の使用例がないことは、単に話題の違いだけではない可能性もある。

6. まとめと課題

本稿では、「郵便報知」と「雑誌 90 種」の約 80 年の間に二字漢語における構成漢字の意味がとりにくくなってきており、そのことによって新しい二字漢語が作られにくくなったという宮島(1969)の指摘と調査をもとに、「雑誌 90 種」と BCCWJ の「新聞」および「知恵袋」を比較し、「雑誌 90 種」以降の傾向を捉えることを試みた。

¹⁸ 条件式は、例えば「画(え)」の場合、キー：(語彙素読み="エ" AND 品詞 LIKE "名詞%")である。

¹⁹ 例えば、「いれる」には「いれる、入れる」の 2 種類の表記が確認された。

²⁰ 「あざ」「たより」「とく」「み」「よし」は用例が「痣」「頼り」「解く、溶く」「身」「良し」の例である。

本稿では、宮島(1969)と同様の方法で「一字漢語の独立用例」の有無と「訓読みによる用例」の有無を「新聞」「知恵袋」における高頻度の二字漢語について調べ、「雑誌 90 種」と「新聞」、「雑誌 90 種」と新聞の比較し、さらに宮島(1969)の結果との比較を行った。その結果、以下の 2 点が確認された。1 点目は「雑誌 90 種」以降も「一字漢語の独立用例」と「訓読みによる用例」を有する構成漢字は減少傾向にあること、2 点目は、明治期からの変化は、「一字漢語の独立用例」の方が「訓読みによる用例」よりも減少幅が大きい、「訓読みによる用例」は、「雑誌 90 種」以降の方が「雑誌 90 種」以前よりも減少幅がやや大きいことである。このことにより、高頻度の二字漢語については、構成漢字の意味が捉えにくく構成漢字に分解して意味を捉えることが困難になる傾向があることが示唆される。漢字の造語力を検討するには、構成漢字一字の用例による検討のみでは十分ではなく、当該の漢字を含む二字漢語の語数など、構成漢字の実際の使用状況についても考える必要がある。しかし、漢字の意味がとりにくくなることは、それらの漢字を用いた造語が行われにくくなること、すなわち構成漢字の造語力の低下傾向を部分的、間接的に示していると考えられる。「雑誌 90 種」以降の「一字漢語の独立用例」と「訓読みによる用例」を有する構成漢字が減少傾向にあることの原因としては、「雑誌 90 種」と「新聞」「知恵袋」との文体の違い、訓読みの制限の影響などが見られたが、レジスターによる使用語彙の違いなど、検討課題も確認された。

本調査の課題として、2 点挙げる。1 点目は他のレジスターとの比較である。「雑誌 90 種」と「新聞」、「雑誌 90 種」と「知恵袋」の変化の度合いを比較すると、レジスターが異なるにもかかわらず、変化の値に大きな違いが見られなかったことを述べた。他のレジスターとも比較することによって、変化の傾向をさらに検討できるのではないかと考える。2 点目は、調査対象語の中には、語の意味と語の漢字表記が離れてしまっていると思われるものがある。例えば、「沢山」の「沢」の訓読みの用例は水が流れる沢の例であり、「印象」の「象」の一字漢語の用例は動物の象の用例であった。宮島(1969)は、漢字一字の意味が明確なことが造語や語の理解につながると述べており、本稿では宮島(1969)と同様の基準で調査を行ったが、二字漢語の意味と構成漢字の意味の結びつきの程度も考慮することが必要だと思われる。

謝 辞

本研究を進めるにあたり、山崎誠先生(国立国語研究所)にご指導を賜りました。深く御礼申し上げます。

文 献

- 国立国語研究所(1959)『明治初期の新聞の用語』国立国語研究所報告 15, 秀英出版
(http://db3.ninjal.ac.jp/publication_db/item.php?id=100170015 よりダウンロード可能)
- 国立国語研究所(1962)「現代雑誌九十種の用語用字 第一分冊：総記および語彙表」国立国語研究所報告 21, 秀英出版
(http://db3.ninjal.ac.jp/publication_db/item.php?id=100170021 よりダウンロード可能)
- 国立国語研究所(1963)「現代雑誌九十種の用語用字 第二分冊：漢字表」国立国語研究所報告 22, 秀英出版
(http://db3.ninjal.ac.jp/publication_db/item.php?id=100170022 よりダウンロード可能)
- 国立国語研究所(1964)「現代雑誌九十種の用語用字 第三分冊：分析」国立国語研究所報

告 25, 秀英出版

(http://db3.ninjal.ac.jp/publication_db/item.php?id=100170025 よりダウンロード可能)

国立国語研究所(1987)『現代雑誌九十種の用語用字五十音順語彙表・採集カード』国立国語研究所言語処理データ集 3, 東京都板橋福祉工場

国立国語研究所(1997)『現代雑誌九十種の用語用字全語彙・表記』[FD 版]国立国語研究所言語処理データ集 7, 三省堂

(http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/archive.html よりダウンロード可能)

国立国語研究所(2015)「形態論情報付きデータ(TSV)」『現代日本語書き言葉均衡コーパス利用の手引 第 1.1 版第 6 章

(http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/doc/manual/BCCWJ_Manual_06.pdf よりダウンロード可能)

佐竹秀雄(2012)「漢字と表記」前田富祺, 野村雅昭(編)『朝倉漢字講座 2 (漢字のはたらき)』普及版, 朝倉書店, pp.44-64.

文化審議会(2010)『改定常用漢字表(答申)』文化庁ホームページ

(http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/sokai/sokai_10/pdf/kaitei_kanji_toushin.pdf よりダウンロード可能)

宮島達夫(1969)「近代日本語における漢字の位置」『教育国語』16, 麦書房, pp.17-44.

山崎誠(編)(2014)『講座日本語コーパス 2 書き言葉コーパス—設計と構築—』朝倉書店

関連 URL

「BCCWJ/短単位語数」

<https://maro.ninjal.ac.jp/wiki/index.php?BCCWJ%2F%E7%9F%AD%E5%8D%98%E4%BD%8D%E8%AA%9E%E6%95%B0>

国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(通常版, BCCWJ-NT)

(http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/ 2018年5~7月利用)

国立国語研究所「『現代日本語書き言葉均衡コーパス』短単位語彙表」(ver.1.1)

(http://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/freq-list.html 2017年5月24日取得)

資料

資料1 「雑誌90種」と「新聞」における「一字漢語の独立用例」の比較(表5参照)

		雑誌90種		
		両方が独立	一方が独立	両方非独立
新聞	両方が独立	映画, 会社, 計画, 作品, 市民, 社会, 情報, 対応, 対策, 対象, 代表, 大会, 地域, 地方, 年間, 文化 (16)	自分 (1)	(0)
	一方が独立	可能, 会議, 会長, 現在, 社長, 住民, 制度, 政府, 説明, 大学, 中心, 年度, 発表, 民主, 利用 (15)	以上, 環境, 関係, 関連, 期待, 共同, 国民, 五輪, 午後, 午前, 国際, 今回, 今後, 昨年, 市場, 事件, 時間, 時代, 実施, 写真, 女性, 政権, 生活, 必要, 方針, 問題 (26)	企業, 事業, 電話 (3)
	両方非独立	首相 (1)	改革, 開発, 学校, 技術, 議員, 協議, 経営, 経済, 結果, 政治, 選挙, 選手, 保険, 優勝, 予定 (15)	委員, 影響, 家族, 活動, 監督, 教育, 教授, 研究, 高校, 参加, 指摘, 支援, 施設, 事務, 出場, 女子, 世界, 全国, 組織, 調査, 販売, 容疑, 連続 (23)

※ は両方に用例があった漢字, はどちらか一方に用例があった漢字を示す。資料2~4も同じ。

資料2 「雑誌90種」と「新聞」における「訓読みによる用例」の比較(表6参照)

		雑誌90種		
		両方訓あり	一方に訓あり	両方訓なし
新聞	両方訓あり	影響, 会社, 会長, 改革, 関係, 関連, 共同, 教育, 経営, 経済, 結果, 現在, 五輪, 国際, 国民, 今回, 今後, 作品, 参加, 市場, 市民, 指摘, 施設, 時間, 時代, 自分, 実施, 写真, 社会, 社長, 首相, 住民, 出場, 女子, 情報, 説明, 選挙, 選手, 全国, 組織, 代表, 大会, 大学, 中心, 年間, 年度, 必要, 保険, 方針, 民主, 優勝, 予定, 利用, 連続 (54)	教授, 事務 (2)	(0)
	一方訓あり	以上, 映画, 開発, 活動, 環境, 企業, 技術, 計画, 研究, 午後, 午前, 事業, 事件, 政治, 生活, 対応, 発表, 文化, 容疑 (19)	委員, 家族, 会議, 学校, 期待, 高校, 昨年, 支援, 女性, 世界, 制度, 地方, 調査, 電話, 販売, 問題 (16)	(0)
	両方訓なし	(0)	可能, 政権, 政府, 対策, 対象 (5)	監督, 議員協議, 地域 (4)

資料3 「雑誌90種」と「知恵袋」における「一字漢語の独立用例」の比較(表7参照)

		雑誌90種		
		両方独立	一方が独立	両方非独立
知恵袋	両方独立	<u>一番</u> , <u>金額</u> , <u>銀行</u> , <u>実際</u> , <u>週間</u> , <u>対応</u> , <u>注意</u> , <u>部分</u> , <u>文字</u> , <u>方法</u> , <u>無理</u> (11)	<u>生活</u> (1)	(0)
	一方が独立	<u>一緒</u> , <u>可能</u> , <u>会社</u> , <u>現在</u> , <u>情報</u> , <u>説明</u> , <u>絶対</u> , <u>大学</u> , <u>番号</u> , <u>本当</u> , <u>利用</u> (11)	<u>意見</u> , <u>意味</u> , <u>一般</u> , <u>回答</u> , <u>確認</u> , <u>簡単</u> , <u>関係</u> , <u>基本</u> , <u>経験</u> , <u>削除</u> , <u>使用</u> , <u>時間</u> , <u>時代</u> , <u>自分</u> , <u>質問</u> , <u>写真</u> , <u>出品</u> , <u>商品</u> , <u>人間</u> , <u>先生</u> , <u>多分</u> , <u>入札</u> , <u>必要</u> , <u>表示</u> , <u>病院</u> , <u>普通</u> , <u>毎日</u> , <u>問題</u> , <u>郵便</u> , <u>予定</u> , <u>落札</u> , <u>理由</u> (32)	<u>個人</u> , <u>自動</u> , <u>知恵</u> (3)
	両方非独立	<u>映画</u> , <u>効果</u> , <u>相談</u> , <u>心配</u> (4)	<u>以外</u> , <u>以上</u> , <u>以前</u> , <u>価格</u> , <u>学校</u> , <u>原因</u> , <u>時期</u> , <u>主人</u> , <u>女性</u> , <u>状態</u> , <u>男性</u> , <u>程度</u> , <u>発送</u> , <u>評価</u> , <u>保険</u> , <u>勿論</u> (16)	<u>家族</u> , <u>奇麗</u> , <u>携帯</u> , <u>結構</u> , <u>結婚</u> , <u>検索</u> , <u>購入</u> , <u>高校</u> , <u>最近</u> , <u>最初</u> , <u>参考</u> , <u>終了</u> , <u>設定</u> , <u>沢山</u> , <u>電話</u> , <u>登録</u> , <u>内容</u> , <u>妊娠</u> , <u>不安</u> , <u>勉強</u> , <u>友人</u> , <u>連絡</u> (22)

資料4 「雑誌90種」と「知恵袋」における「訓読みによる用例」の比較(表8参照)

		雑誌90種		
		両方訓あり	一方に訓あり	両方訓なし
知恵袋	両方訓あり	<u>一緒</u> , <u>回答</u> , <u>確認</u> , <u>関係</u> , <u>結構</u> , <u>原因</u> , <u>現在</u> , <u>効果</u> , <u>最近</u> , <u>最初</u> , <u>削除</u> , <u>参考</u> , <u>使用</u> , <u>時間</u> , <u>時代</u> , <u>自動</u> , <u>自分</u> , <u>写真</u> , <u>主人</u> , <u>出品</u> , <u>情報</u> , <u>心配</u> , <u>人間</u> , <u>生活</u> , <u>設定</u> , <u>先生</u> , <u>多分</u> , <u>大学</u> , <u>沢山</u> , <u>知恵</u> , <u>程度</u> , <u>内容</u> , <u>入札</u> , <u>発送</u> , <u>必要</u> , <u>表示</u> , <u>毎日</u> , <u>友人</u> , <u>予定</u> , <u>落札</u> , <u>利用</u> , <u>連絡</u> (42)	<u>携帯</u> , <u>登録</u> (2)	(0)
	一方訓あり	<u>以外</u> , <u>以上</u> , <u>以前</u> , <u>一番</u> , <u>映画</u> , <u>会社</u> , <u>基本</u> , <u>金額</u> , <u>銀行</u> , <u>購入</u> , <u>質問</u> , <u>実際</u> , <u>終了</u> , <u>商品</u> , <u>説明</u> , <u>絶対</u> , <u>対応</u> , <u>文字</u> , <u>勉強</u> , <u>保険</u> , <u>本当</u> (21)	<u>意見</u> , <u>意味</u> , <u>一般</u> , <u>家族</u> , <u>学校</u> , <u>経験</u> , <u>結婚</u> , <u>高校</u> , <u>個人</u> , <u>時期</u> , <u>週間</u> , <u>女性</u> , <u>相談</u> , <u>男性</u> , <u>注意</u> , <u>電話</u> , <u>病院</u> , <u>不安</u> , <u>普通</u> , <u>部分</u> , <u>方法</u> , <u>無理</u> , <u>問題</u> (23)	(0)
	両方訓なし	(0)	<u>価格</u> , <u>可能</u> , <u>検索</u> , <u>番号</u> , <u>評価</u> , <u>勿論</u> , <u>郵便</u> , <u>理由</u> (8)	<u>簡単</u> , <u>奇麗</u> , <u>状態</u> , <u>妊娠</u> (4)